

# 图画工作



# 図画工作

開隆堂  
日本文教出版

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		9 開隆堂
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫  別表 1	<p>作品例、活動中の児童の写真、様々なマークやコーナーを随所に使い、図画工作科の目標達成のための学習が視覚的に分かりやすいように工夫して作成されている。</p> <p>題材で扱う用具や材料を分かりやすく一覧に示しており、育てたい力を3つに分類してマークで示している。</p> <p>学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容がバランスよく配分されている。</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮  別表 2	<p>「図画工作で大切にしたいこと」を発想・構想する力、創造的な技能、コミュニケーション力の3つに分類し、題材ごとの目標とともにマークでわかりやすく示している。</p> <p>「パレットコーナー」を設定して、創造的な技能が身に付けられるように工夫している。</p> <p>安全面について配慮が必要な用具などは、コーナーで分かりやすく示している。</p>
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表 3	<p>多くの作品例を示し、視覚的に活動内容がとらえられるようにするとともに、児童が思ったことや工夫したことを会話文で示すなど、生き生きとした表現力を引き出すように工夫している。</p>
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮  別表 4	<p>題材ごとに学習のめあてを分かりやすく示し、視覚的に活動内容がとらえられるようにするとともに、言語活動とともに、発想や構想の意欲を引き出せるように工夫している。鑑賞や伝え会いを題材に取り入れた設定などの工夫が見られる。</p> <p>「ひらめきコーナー」のページで身近な材料を使って日常的な遊びにつながる造形活動を取り上げている。</p>
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表 5	<p>巻頭及び巻末に、発展的な学習や今日的な課題に関連したページを設けている。</p>
	(5) 他の教科等との関連  別表 6	<p>各巻に「みんなのギャラリー」というページを設け、地域とのつながりに関する内容を掲載している。</p> <p>他教科との関連を意識した題材設定がされている。道徳の内容項目と関連づけた題材を取り入れている。</p>
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫  別表 7	<p>題材名を、活動内容と関連づけたデザインで表記している。</p> <p>目次で、実態に合わせて選択する題材を色分けして示している。また、目次の折り込みを開いて題材のページと合わせて見ることにより、材料や用具、他の題材との関連などを同時に見ることができる。</p>

発 行 者 名
116 日 文
<p>題材ごとに学習のめあてを掲載するなど、図画工作科の目標達成のための学習が視覚的に分かりやすいように工夫して作成されている。</p> <p>「絵に表す活動」「立体に表す活動」など図画工作科の主な内容を表示して題材を配列している。</p> <p>学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容がバランスよく配分されている。</p>
<p>題材ごとに題材名と学習のめあて、活動の導入となる呼びかけ文を示している。</p> <p>題材に応じて、また巻末にも材料や用具の扱い、基礎的な表現技法をまとめたコーナーで取り上げ、創造的な技能が身に付けられるように工夫している。 安全面について配慮が必要な用具などは、「気をつけよう」のコーナーをもうけて説明されている。</p>
<p>カラーの枠などを利用して児童の発想や構想を助けるような言葉がけを言葉や写真で表現している。また、活動中の児童の生き生きとした楽しそうな表情や様子の写真を多く掲載している。</p>
<p>題材ごとに学習のめあてを明確に示し、作品例を視覚的に活動内容がとらえられるようにするとともに、言語活動とともに、発想や構想の意欲を引き出せるように工夫している。鑑賞や話し合いを題材に取り入れた設定などの工夫が見られる。 学習の進め方や活動方法のヒントとなることが、キャラクターの吹き出しによって示されている。</p>
<p>5・6年下巻に「中学校へ向かって」というページを設け、小中の繋がりを示している。</p>
<p>各巻に「図画工作の広がり」というページを設け、地域や世界とのつながり、キャリア教育に活用できる内容を掲載している。 他教科との関連を意識した題材設定がされている。 道徳の内容項目と関連づけた題材を取り入れ、特に関連が深い題材については、ページの右下に小鳥のマークを付ける工夫をしている。</p>
<p>活動内容や学習の目当て、学習のヒント、材料や用具などを分かりやすいマークや色分けにより表記を工夫して示している。 全て一つの題材に対して見開き2ページにまとめられている。</p>

教科・種目名 図画工作 調査研究事項  
別表1

調査項目	9 開隆堂
内容のまとめりごとに取り上げられている題材数（ページ数）等	<p>材料を基に造形遊びをする活動の配分と配列</p> <p>◇低学年においては、49題材中8題材15ページ配分されている。 ◇「しぜんとなかよし」など自然材を基にした活動、「いろいろならべて」など身近な材料や廃材を基にした活動、「うつつであそぼう」など絵の具などの描画材を基にした活動、またこれらの材料を複合的に用いる活動が各学年にバランスよく配列されている。 ◇中学年においては、39題材中5題材7ページ配分されている。 自然材や廃材を生かした活動、また「いつもの場所で」「いい場所見つけて、囲んでみよう」などでは、身近な場所での協力的な活動、且つ、テープや紐といった接合材の色や結ぶ技能面の習得となっている。また、どれもそれらが複合した活動となっている。 ◇高学年においては、36題材中4題材5ページ配分されている。他の題材とバランス良く配置している。</p>
内容のまとめりごとに取り上げられている題材数（ページ数）等	<p>感じ取ったことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動の配分と配列</p> <p>◇低学年においては、49題材中39題材54ページ配分されている。 ◇「すきなもののいっぱい」など感じ取ったことや想像したことを絵に表す活動、「みてみて、いっぱいつくったよ」など感じ取ったことや想像したことを立体に表す活動、「ひかりのくにのなかまたち」など工作に表す活動、またこれらの活動を鑑賞の活動に結び付けた活動が各学年にバランスよく配列されている。 ◇中学年においては、39題材中32題材55ページの配分されている。 ◇「絵の具と水のハーモニー」など感じ取ったことや想像したことを絵に表す活動で、絵の具を使った活動が冒頭にあり、「にぎって、ひねって、ひらめいて」など感じ取ったことや想像したことを立体に表す活動、工作に表す活動では、「のこぎりひいて、ザク、ザク、ザク」でのこぎりを使った活動から入っている。また、系統性も考えられて配列されている。 ◇高学年においては、36題材中30題材59ページ配分されている。所々、同一活動の連続が見られる。</p>
内容のまとめりごとに取り上げられている題材数（ページ数）等	<p>作品などを鑑賞する活動の配分と配列</p> <p>◇低学年においては、49題材中9題材20ページ配分されている。 ◇どの学年でも冒頭に「ちいさなびじゅつかん」と「ゆめをかたち」という鑑賞のページを設けており、発達段階に適した様々な美術作品の写真を掲載したり、プロの芸術家の作品を詩と共に紹介している。 ◇その他の「チョッキンパッドかざろう」などの題材については表現したものを形や色などをテーマに友達同士で鑑賞するという活動となっている。 ◇中学年においては、39題材中2題材2ページ配分されている。 ◇中程の鑑賞活動は、表現したものを感触や形や色などをテーマに友達同士で交流する活動となっている。 ◇「小さな美術館」の鑑賞から、造形遊びなどの活動につながる活動がなされている。 ◇配分は、36題材中2題材5ページ配分されている。上下に各1題材を配列。他に、巻頭と巻末に上下巻とも3題材を配置している。</p>
内容のまとめりごとに取り上げられている題材数（ページ数）等	<p>「A表現」「B鑑賞」領域の関連づけ</p> <p>◇低学年では、児童自身が表現した作品を用いて、色や形、材質の面白さや美しさなど感じとったことを交流する活動として取り上げられている。 ◇中学年においては、中程の鑑賞活動は、表現したものを感触や形や色などをテーマに友達同士で交流する活動となっている。 ◇「小さな美術館」の鑑賞から、造形遊びなどの活動につながる活動がなされているなど、表現活動が鑑賞の活動に結び付けた活動がバランスよく配列されている。 ◇高学年では絵や立体、工作の各ページの「ふりかえって、はなしあおう」というコーナーに「自分や友だちの作品のよいところを見つけよう」と記述し、表現と鑑賞の一体化を図っている。</p>
領学と学習の指導関連要	<p>「生きる力」を育て「自ら学ぶ」意欲を育てる学習活動の具現化</p> <p>◇身近なものや出来事、場所と図画工作の題材を結び付けて、児童の興味・関心を高める工夫がされている。自分の生活に深く結びついた活動は児童の学ぶ意欲につながる事が予想される。 ◇学習指導要領の内容についてバランスよく配分している。図画工作科で大切にしたいことを、大きく3つにくくってマークで表し、題材毎に学習のめあてに沿って活動できるよう工夫している。</p>

116 日文

◇低学年においては、44題材中8題材16ページ配分されている。  
 ◇「すなやつちとなかよし」など自然材を基にした活動、「いろいろなはこから」など身近な材料や廃材を基にした活動、「コロコロペったんシャカシャカ」など絵の具などの描画材を基にした活動、またこれらの材料を複合的に用いる活動が各学年にバランスよく配列されている。  
 ◇中学年においては、41題材中8題材16ページ配分されている。  
 ◇上「いつもの場所で」は、冒頭にあり身近な場所で身近な材料（自然材や廃材）を活かした活動から入り、「切ってつないで大へんしん！」などではボール紙やだんボールのつなぎ方を習得し、それを使っての活動、透過性のある材料を使った活動も上・下に設けられている。  
 ◇高学年においては、配分は、36題材中4題材8ページ配分されている。他の題材とバランス良く配置している。

◇低学年においては、44題材中33題材66ページ配分されている。  
 ◇「どんだんかくのはたのしいな」など感じ取ったことや想像したことを絵に表す活動、「ひもひもねんど」など感じ取ったことや想像したことを立体に表す活動、「チョコチョコキかざり」など工作に表す活動が各学年にバランスよく配列されている。  
 ◇中学年においては、41題材中31題材60ページ配分されている。  
 ◇「色・形いいかんじ！」は感じ取ったことや想像したことを絵に表す活動で、絵の具を使った活動が冒頭にあり、「これにえがいたら」など、感触から発想する活動もある。工作に表す活動では「トントンドンドンくぎうち名人」などで、金づちや小刀を使った活動から入っている。またこれらの活動を鑑賞の活動に結び付けた活動がバランスよく配列されている。  
 ◇高学年においては、36題材中28題材54ページ配分されている。他の題材とバランス良く配置している。

◇低学年においては、44題材中3題材6ページ配分されている。  
 ◇身近なものの形や色などから面白さや楽しさを感じ取る、様々な活動が紹介されている。  
 ◇中学年においては、41題材中2題材4ページ配分されている。  
 ◇冒頭の「教科書びじゅつかん」に身近な材料用具、光や透過性に視点をのいた写真などの紹介をし、その後の活動につなげるようになされている。  
 ◇高学年においては、配分は、36題材中4題材8ページ配分されている。他の題材とバランス良く配列している。他に、巻頭と巻末に上下巻とも3題材を配置している。

◇低学年の「鑑賞」の題材では、どれも鑑賞活動を表現活動へ繋げている。感じたことを活かして、絵に表したり、立体に表したり、感じたことを友達に紹介したりすることで、想像力を膨らませ、自分のイメージを広げる活動となっている。  
 ◇鑑賞した作品を体を使って表現したり、写真作品を身近な場所で鑑賞をするといった活動での関連がなされている。  
 ◇絵や立体、工作のページに「見たり感じたりすること」を示すハート型のマークを付けて題材ごとの鑑賞の観点を表示し、表現と鑑賞の一体化を図っている。

◇身近なものや出来事、場所と図画工作の題材を結び付けて、児童の興味・関心を高める工夫がされている。自分の生活に深く結びついた活動は児童の学ぶ意欲につながることが予想される。  
 ◇学習指導要領の内容についてバランスよく配分している。題材ごとに学習の要素を「学習のめあて」にマークを使って表示し、めあてに沿って活動できるよう工夫している。

教科・種目名 図画工作 調査研究事項

別表 2

調査項目	9 開隆堂
各学年で習得しておくべき創造活動の基礎的な能力を身につけさせるための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇様々な材料の紹介コーナーを設けている。(1・2年上P.11、下P.22など) (低学年)</li> <li>◇様々な材料の紹介コーナーを設けている。(3・4年上P.20、下P.20・28) (中学年)</li> <li>◇題材ごとに作品例を多く掲載し、囲み込みで技能面についての説明を行うなどの工夫が見られる。(高学年)</li> </ul>
発達段階に応じて用具とその扱いが配慮されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「パレットコーナー」や「どうぐばこ」で各学年で扱う材料や用具の扱い方を示している。</li> <li>◇題材ごとのコーナーでも技法や表現例を紹介している。</li> <li>◇既習内容についても再度簡単に押さえている。</li> <li>◇題材ごとのコーナーでも技法や表現例を紹介している。</li> <li>◇題材によってマークと枠で安全喚起を行っている。</li> <li>◇囲み込みのコーナーで、図解や写真により、用具と扱いについて分かりやすく説明している。また、巻末に材料や用具の使い方を、基本的な表現方法を説明したコーナーを作り、分かりやすく説明している。</li> </ul>

別表 3

調査項目	9 開隆堂
造形的な創造活動の基礎的な能力を高めるための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各ページには出来上がりの作品もたくさん掲載されているが、活動中の様子の写真が大変多く、どのような造形活動をしたのか、一目でわかる。</li> <li>◇多くの作品例を示し、創作時の思いや工夫したことを、会話文で表示している。</li> </ul>
スケッチ等も含む言語活動の取組への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇鑑賞活動の様子を写真で表し、吹き出しによって、児童の感想や気付きを具体的な言葉によって例示している。</li> <li>◇友だちとの関わりをもたせながら題材に取り組むように計画されており、自然と言語による交流が生まれている。</li> <li>◇活動の様子を写真で表し、吹き出しによって、児童の感想や気付きを具体的な言葉によって例示している。</li> <li>◇友だちとの関わりをもたせながら題材に取り組むように計画されており、自然と言語による交流が生まれる。</li> <li>◇3・4年上「ひみつのへんしんショー」での、言葉から絵の発想をする活動が紹介されている。</li> <li>◇題材ごとに「ふりかえって、はなしあおう」というコーナーを設け、言語活動への配慮をしている。</li> </ul>
発想や構想の能力を高めるための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇材料や場の設定をバリエーション豊かに写真で紹介している。</li> <li>◇児童がどのような思いでその作品を表現したかが分かるよう、吹き出しや解説で多様な例を示している。</li> <li>◇例示作品に作者の創作時の思いや工夫したことを会話文で示し、発想や構想の支援となるよう配慮している。</li> </ul>

## 116 日文

◇各題材に必要な材料、用具、取組の手順などをカラーの枠線で囲んだコーナーに取り上げて説明している。  
◇題材のめあてを、マークなどを用いて、題材ごとに分かりやすく示している。  
◇工作で作り方の手順などの紹介コーナーを設けている。(3・4年上P.44・45下P.40・41)  
◇「きをつけよう」コーナーで安全面への配慮と「かたづけ」のことが、題材ごとに示してある。  
◇題材ごとに児童が活動している写真を多用し、作り方を図解するなどの工夫が見られる。

◇「使ってみよう材料と用具」のコーナーで、発達段階に応じた材料・用具の説明をしている。  
◇「つかってみようざいりょうと用ぐ」として6ページに渡り設けており、使い方や注意点、表現方法まで詳しく紹介している。  
◇題材ごとのコーナーでも技法や表現例を紹介している。  
◇題材ごとに使用する用具をマークで示している。巻末に材料や用具の使い方をまとめて示している。また、「きをつけよう」「かたづけ」のコーナーでは、安全面や後片付けの注意点を示している。

## 116 日文

◇各ページには出来上がりの作品もたくさん掲載されているが、活動中の様子の写真が大変多く、どのような造形活動をしたのか、一目でわかる。  
◇「形や色のチーロさん」キャラクターの吹き出しで活動のヒントが示されている。  
◇マークで、用具がしめされており分かりやすくなっている。  
◇各題材に学習のめあてを、板書ふうに分かりやすくまとめて表示している。  
◇「つくり方」「遊び方」のコーナーで、イラストを使って説明している。

◇友だちとの関わりをもたせながら題材に取り組むように計画されており、自然と言語による交流が生まれている。  
◇活動の様子を写真で表し、吹き出しによって、児童の感想や気付きを具体的な言葉によって例示している。  
◇工作でのアイデアスケッチで、言葉を書き加えた構想の説明事例を紹介している。(3・4年下「ギョギョクリエーター」)  
◇「学習のめあて」や活動後の感想ので、活動中や鑑賞時の言語活動のヒントを示すなどの、言語活動への配慮をしている。

◇作品は、色々なタイプの作品を写真で紹介している。  
◇活動中の様子の写真には、その児童がどんな思いを持って活動を進めているかが分かるよう吹き出しを活用している。  
◇絵の表現では、描き手の児童の表現意図や方法・手順といった点まで説明が書かれており、発想のヒントともなっている。  
◇各題材で「学習の目当て」やクレヨンのキャラクターの吹き出しでヒントを示し、発想や構想の支援となるよう配慮している。

教科・種目名 図画工作 調査研究事項  
別表 4

調査項目	9 開隆堂
「やってみたい」という意欲を喚起させる工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇活動の様子、作品、作品名、解説などをたくさん掲載している。特に写真で掲載されている作品数やバリエーションが豊かである。</li> <li>◇「ひらめきコーナー」で紙の特性を生かした作品紹介がされている。</li> </ul>
「他者」との関わりを持たせる工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇写真や吹き出しによって、児童が鑑賞している様子を掲載している。</li> <li>◇児童が関わり合っている写真、鑑賞の題材や伝え会を取り入れた題材の設定など、他者との関わりを持たせる工夫をしている。</li> </ul>
学習の進め方がわかる工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次で「用具」「材料」を一覧にしている。</li> <li>◇題材目標を分かりやすく示している。</li> <li>◇吹き出しを用いて活動の様子を説明している。</li> <li>◇「ふりかえてみよう」を題材ごとに設けている。</li> <li>◇はじめに学習の目標を明示し、題材名と主文を分かりやすく表示している。また、用具や材料、つくり方や発想の広げ方などを囲み込みのコーナーで示し、最後に鑑賞の視点を示している。</li> <li>◇学習のめあてを明確に示し、作品例と児童が活動している写真を多く掲載し、「つくり方」のコーナーを設けるなどの工夫が見られる。</li> </ul>

別表 5

調査項目	9 開隆堂
発展的な学習や今日的な課題を行う際に取り上げる資料や扱いにおける配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇アレルギー反応への注意喚起をマークと文で記載している。</li> <li>◇東日本大震災の復興に関連した取り組みが掲載されている。</li> <li>◇「考えを広げて」のコーナーで陶芸的要素を紹介している。</li> <li>◇言語活動を進めるための工夫、道徳と関連づけた題材設定等の工夫が見られる。</li> </ul>

116 日文

◇活動の途中の様子が、生き生きとした児童の表情とともに掲載されている。  
 ◇学習のめあてを明確に示し、作品例や児童が活動している写真を掲載し、学習を支援する様々な工夫をしたコーナーを設置している。

◇児童同士が関わり合いながら活動を進める様子や鑑賞している様子の写真を掲載している。  
 ◇題材自体が、他者との関わりを必要とするものが多い。  
 ◇3・4年上の「図画工作の広がり さくひんをみてもらおう」では、展示方法や展示場所の紹介から、関わりの広がりヒントとなっている。  
 ◇児童が関わり合っている写真、鑑賞の題材や伝え会を取り入れた題材の設定など、他者との関わりを持たせる工夫をしている。

◇もくじで活動の内容（絵に表すなど）をマークを使って一覧にしている。  
 ◇「学習のめあて」というコーナーを題材ごとに設けて分かりやすく示している。  
 ◇クレヨンの形をしたキャラクターが、吹き出しで、活動をサポートするような言葉がけをしている。  
 ◇「きをつけよう」「かたづけ」のコーナーで活動をサポートしている。  
 ◇「活動の後で」として、吹き出しでプロセスの一端を紹介している。  
 ◇学習のめあてを明確に示し、作品例と児童が活動している写真を多く掲載し、「つくり方」やのコーナーを設けるなどの工夫が見られる。

116 日文

◇各題材に必要な材料、用具、取組の手順などをカラーの枠線で囲んだコーナーに取り上げて説明している。  
 ◇題材のめあてを、マークなどを用いて、題材ごとに分かりやすく示している。  
 ◇言語活動を進めるための工夫、道徳と関連づけた題材設定等の工夫が見られる。また、5・6年下巻に「中学校へ向かって」というページを設け、小中の繋がりを示している。

教科・種目名 図画工作 調査研究事項  
別表 6

調査項目	9 開隆堂
他教科との関連付け（関連を示す印）などの配慮	<p>◇印などは特に見当たらないが、題材名によって関連付けられていることが理解できる。（1・2下「どきどきカード」など）</p> <p>◇題材名によって関連付けられていることが理解できる。（3・4上「みんなでオン・ステージ」音楽など）（中学年）</p>
総合的な学習の時間との関連への配慮	<p>◇季節や自然と関わることと関連付けることが考えられる。</p> <p>◇外国の子どもの絵画作品などが掲載されている。</p> <p>◇季節や自然と関わることと関連付けることが考えられる。</p> <p>◇外国の子どもの絵画作品などが掲載されている。</p> <p>◇地域の取り組み、伝統の技・昔からのおもちゃの紹介がされている。</p> <p>◇各巻に「みんなのギャラリー」というページを設け、図画工作科の学習と地域とのつながりに関する内容を掲載している。</p>
道徳との関連への配慮	<p>◇活動を通して育てたい力を「試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力」「形や色、方法や材料を工夫する力」「心を開いて楽しく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」の3つに分けて題材ごとに示している。この中で「心を開いて楽しく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」を示している。</p> <p>◇題材については、道徳と関連付けた学習が考えられる。</p>

116 日文

◇印などは特に見当たらないが、関連付けて活動できる題材は多い。  
◇「ゴー！ゴー！ドリームカー」、ゴムや風の力を利用して動く工作活動では理科との関連性。

◇活動の場や材料となるものを考えると、季節感や身近な場所が感じられる。  
◇季節や自然と関わることと関連付けることが考えられる。  
◇外国の子どもの絵画作品などが掲載されている。  
◇伝統文化として、3・4年上の「図画工作の広がり さくひんをみてもらおう」で、民芸作品（おもちゃ）を紹介している。また、「ぞうけいのもり」で道具や作る人の写真による紹介をしている。  
◇各巻に「図画工作の広がり」というページを設け、地域や世界とのつながり、キャリア教育に活用できる内容を掲載している。

◇1・2年下「わくわくすごろく」「ときめきコンサート」などのように、協力して相談しながら進め、出来上がった作品で友達と遊ぶような題材は、道徳と関連づけた学習が考えられる。  
◇目次に道徳の内容にかかわることとしてマークが示され、題材によって吹き出しで示している。  
◇道徳の内容項目と関連づけた題材を取り入れ、特に関連が深い題材については、ページの右下に小鳥のマークを付ける工夫をしている。

教科・種目名 図画工作 調査研究事項  
別表7

調査項目		9 開隆堂
ユニバーサルデザイン化に向けた取組例		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇写真や図による説明が多く、文字の大きさや色遣いなどを工夫した画面構成。</li> <li>◇題材の中には、実用的なものをデザインする活動がたくさん含まれている。</li> <li>◇題材名を、活動内容と関連づけたデザインで表記している。</li> </ul>
作品例等、資料の取扱い	図版・写真などと学習内容の関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習内容に合った図版・写真が、適切且つ効果的に使われている。</li> <li>◇児童の作品例や活動中の写真を多く取り入れ、学習内容や活動の仕方が視覚的に分かるように工夫されている。</li> </ul>
	本文、資料、挿絵、写真、図、作品例などのレイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇短い言葉で分かり易く説明している。</li> <li>◇教科書自体が大判で分かりやすい。</li> <li>◇写真、図、文字などを大小めりはりをつけて見やすいレイアウトとなっている。</li> <li>◇全体にバランスよく配置されている。</li> </ul>
地域や学校の実態に合わせて活用できる構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材名が幅をもたせたものとなっており、自校の実態に合わせた材料や場所など、設定変更が容易である。</li> <li>◇目次で、実態に合わせて選択する題材を、色分けして示している。</li> </ul>

116 日文

◇写真や図による説明が多く、文字の大きさや色遣いなどを工夫した画面構成。

◇題材の中には、実用的なものをデザインする活動がたくさん含まれている。

◇学習のめあてのコーナーや、「工作」「絵」などの分野を示すマークなど、分かり易いマークや色遣いで大切なポイントを示している。

◇学習内容に合った図版・写真が、適切且つ効果的に使われている。

◇児童の作品例や活動中の写真を多く取り入れ、学習内容や活動の仕方が視覚的に分かるように工夫されている。

◇短い言葉で分かり易く説明している。

◇すべての題材が見開き2ページで扱っていて分かり易い。

◇写真、図、文字などを大小めりはりをつけて見やすいレイアウトとなっている。

◇全体にバランスよく配置されている。

◇題材名が幅をもたせたものとなっており、自校の実態に合わせた材料や場所など、設定変更が容易である。

◇「ぞうけいのもり」のページでは、地域の特色を生かしたものなどが紹介されており、どのように活用するかは、実態に合わせて工夫できるものである。

---

# MEMO

---